

平成21年度 第2回成果発表会

生活再建の課題

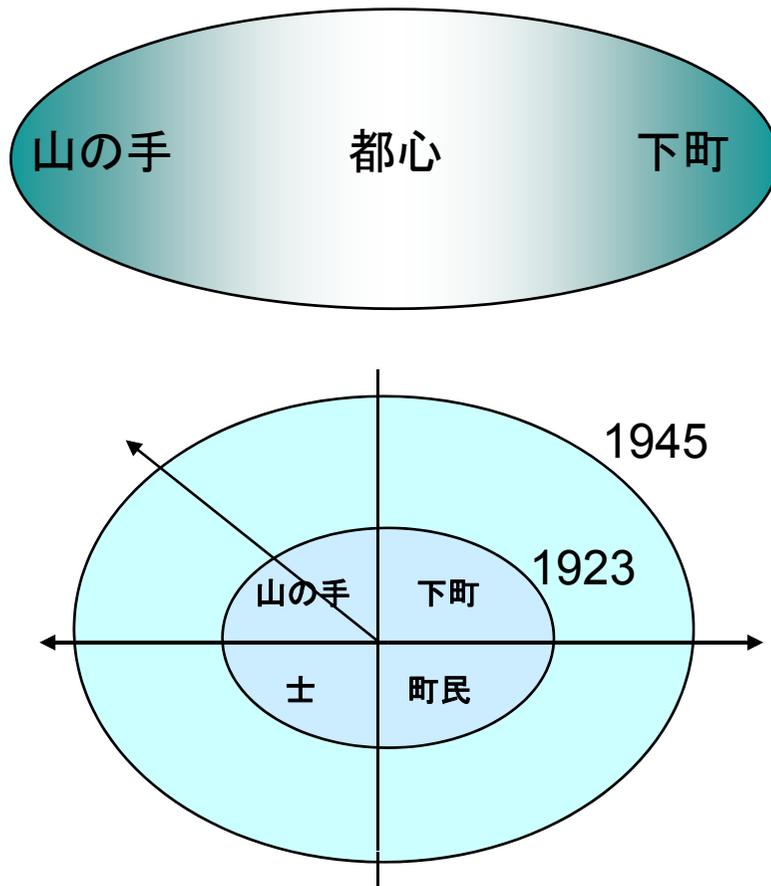
# 地域の再建

富士常葉大学大学院環境防災研究科 准教授 田中 聡

2010.02.26

# 生活の再建における地域とは？

## 東京 地域のモデル



### 山の手

西部・南部
品川区
目黒区
大田区
世田谷区
中野区
杉並区
練馬区

### 都心

都心
千代田区
中央区
港区
新宿区
文京区
台東区
墨田区
江東区
渋谷区
豊島区
荒川区

### 下町

東部・北部
北区
板橋区
足立区
葛飾区
江戸川区

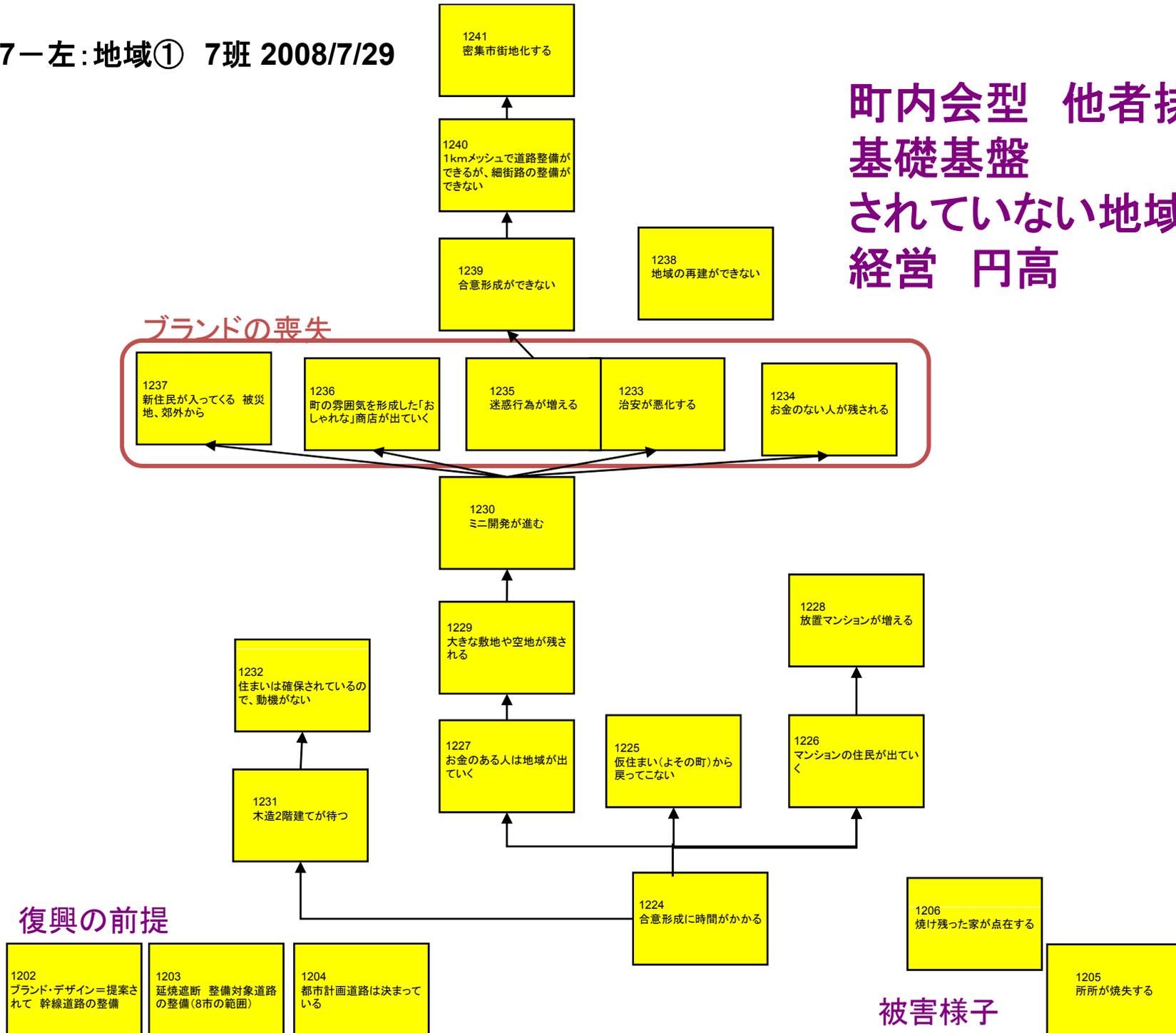
+ 多摩地区

(東京都都市整備局)

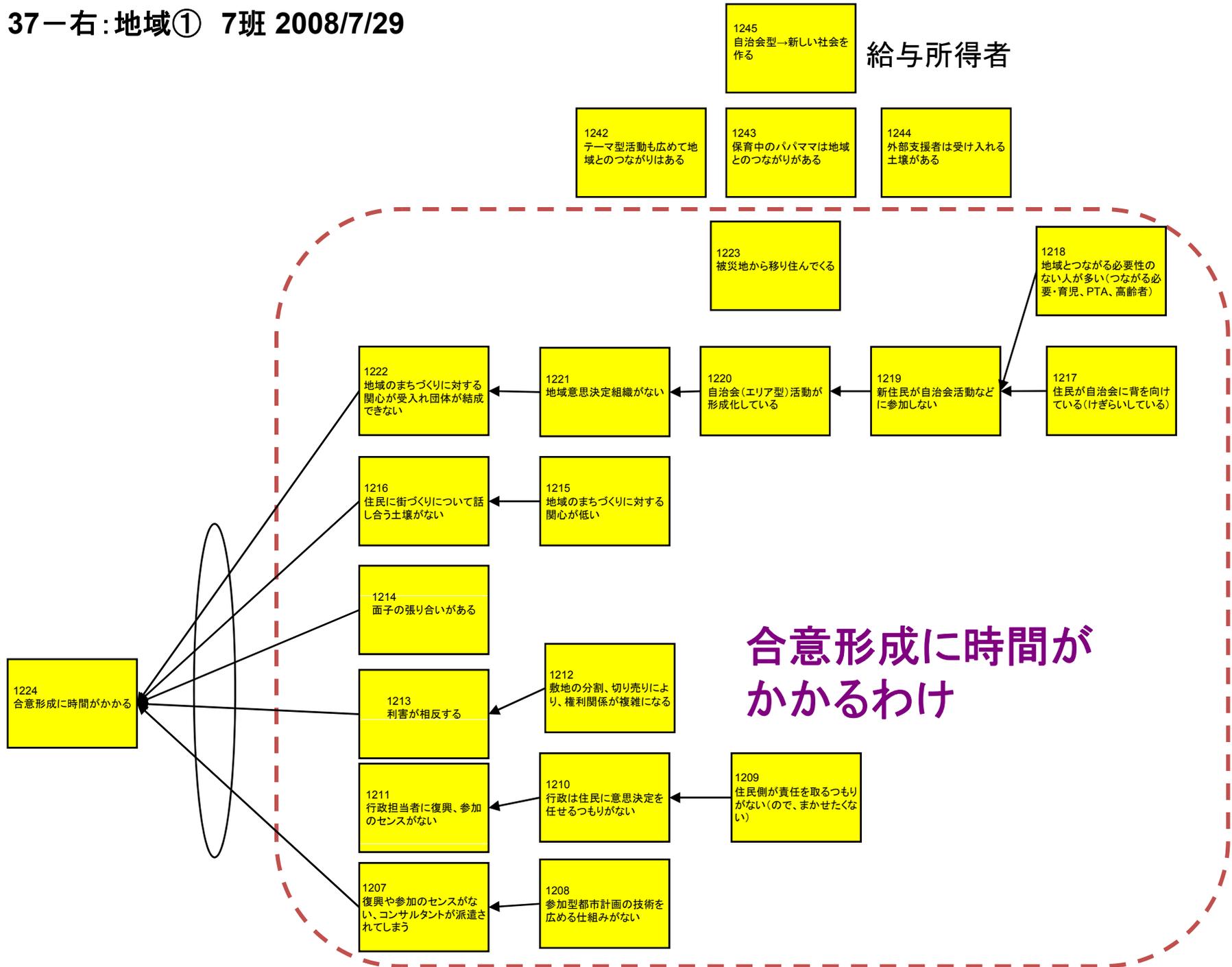


37-左:地域① 7班 2008/7/29

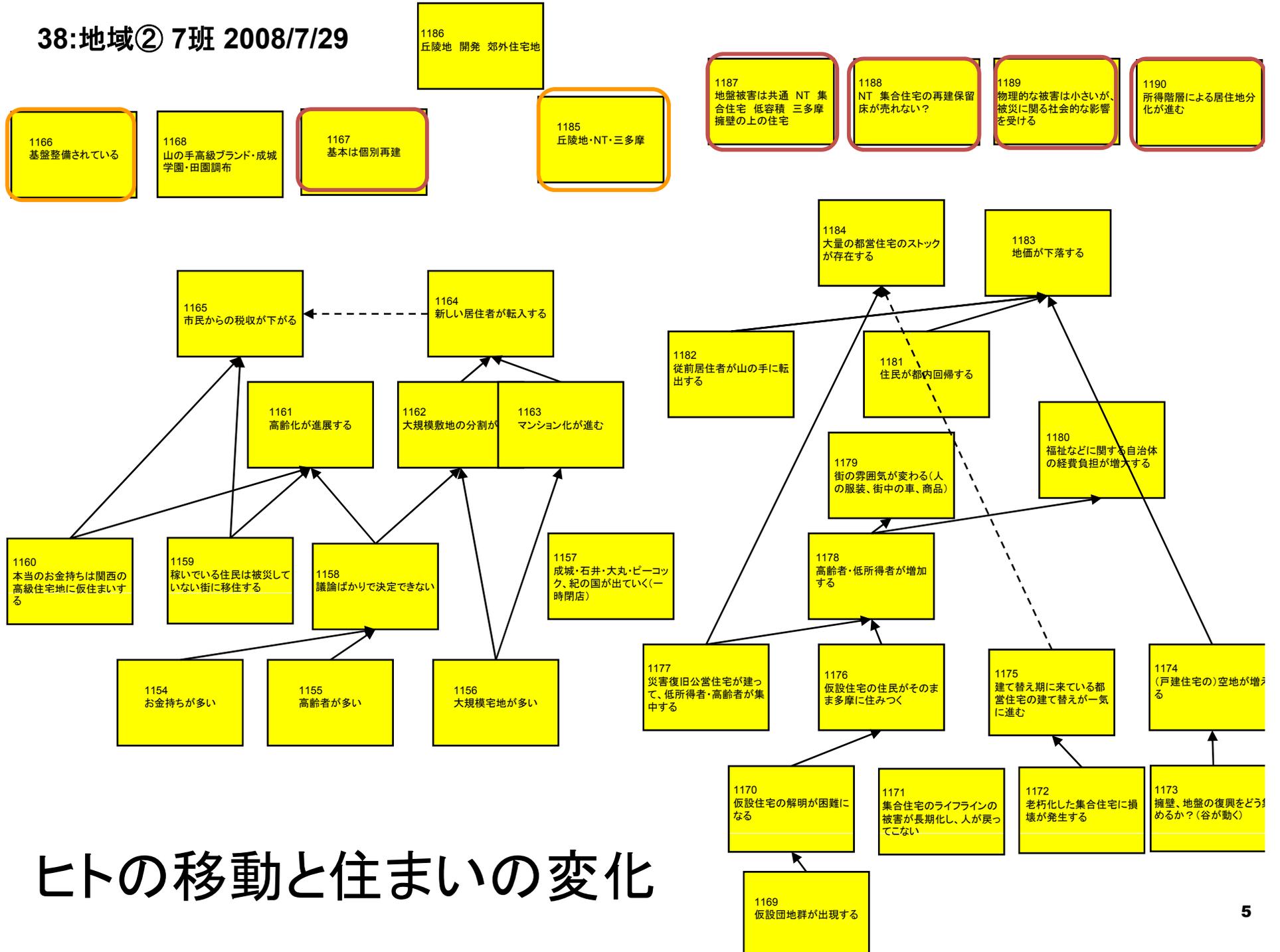
町内会型 他者排除  
基礎基盤  
されていない地域  
経営 円高



37-右:地域① 7班 2008/7/29

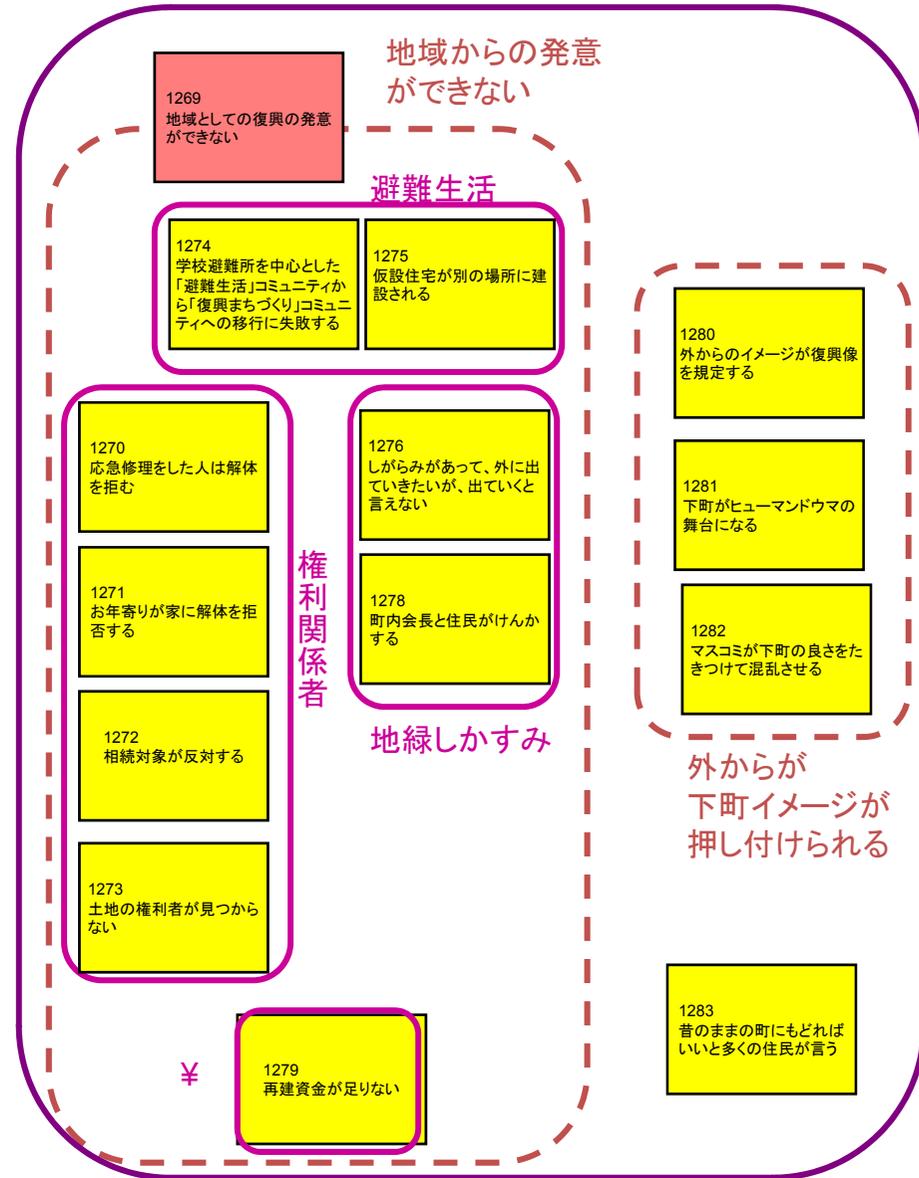
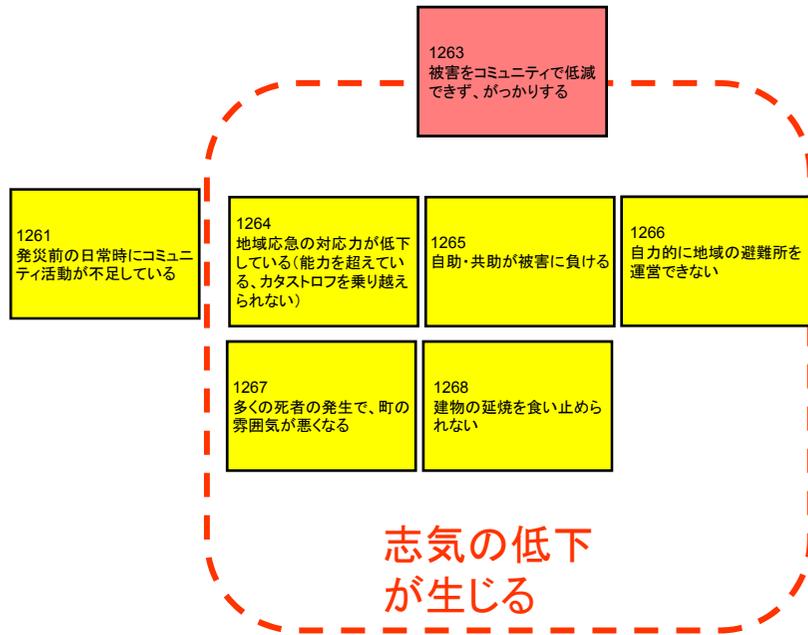


# 38:地域② 7班 2008/7/29



## ヒトの移動と住まいの変化

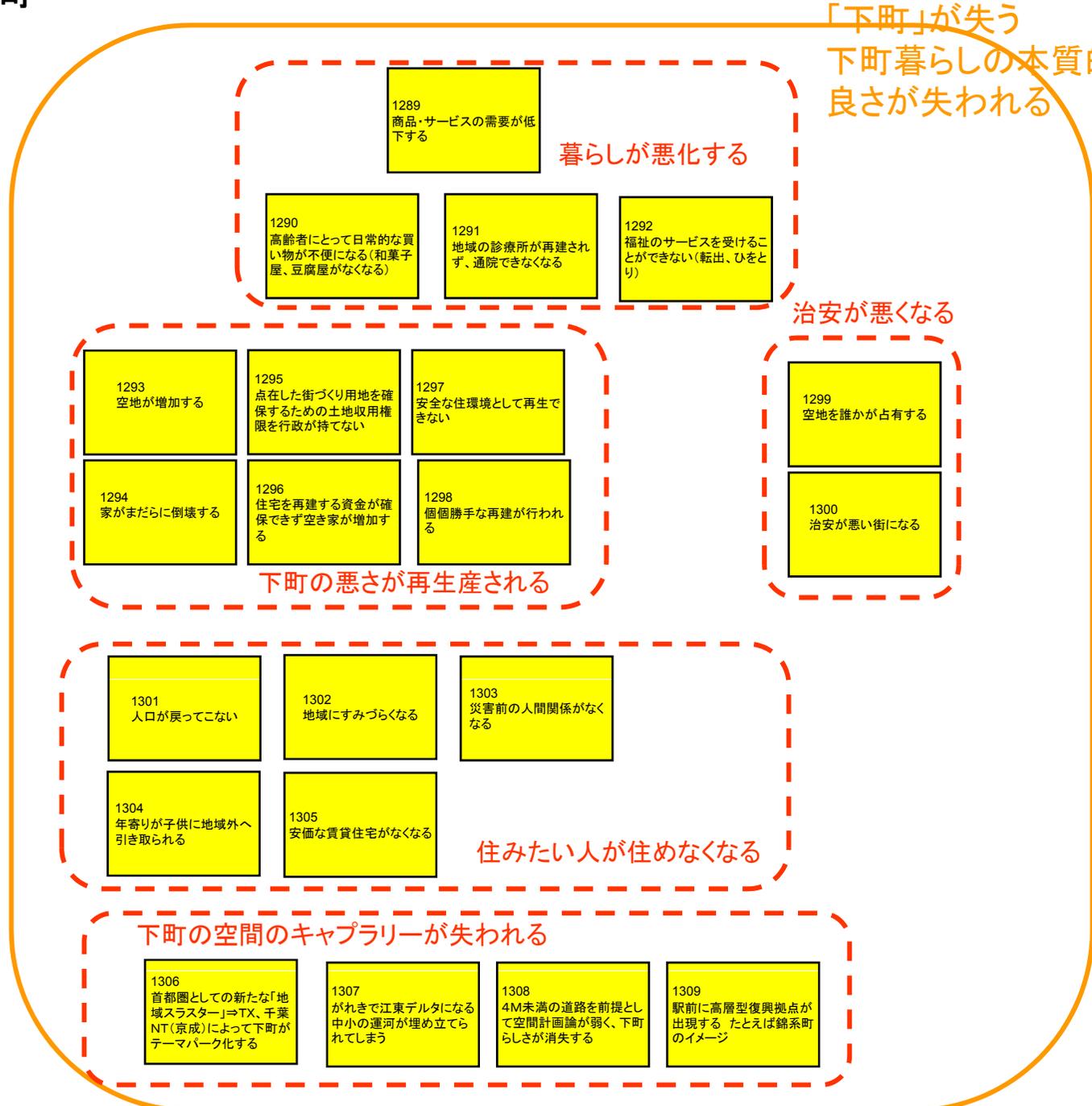
復興に向けた  
議論・ビジョンが  
混乱する



51-右:地域一下町  
7班 2008/7/29

「復興」を  
あきらめる

- 1284  
地域の復興計画がまとまらない
- 1285  
区自治体として地域とのパートナーシップに基づく復興ビジョンが提起できない
- 1286  
復興のスピードは地域によって偏っている
- 1287  
商店街が再建をあきらめる
- 1288  
地域を離脱する人が増える



1289  
商品・サービスの需要が低下する

1290  
高齢者にとって日常的な買い物  
が不便になる(和菓子屋、豆腐屋がなくなる)

1291  
地域の診療所が再建されず、通院できなくなる

1292  
福祉のサービスを受けることができない(転出、ひもと)

1293  
空地が増加する

1295  
点在した街づくり用地を確保するための土地収用権限を行政が持てない

1297  
安全な住環境として再生できない

1299  
空地を誰かが占有する

1294  
家がまだらに倒壊する

1296  
住宅を再建する資金が確保できず空き家が増加する

1298  
個別勝手な再建が行われる

1300  
治安が悪い街になる

1301  
人口が戻ってこない

1302  
地域にすみづらくなる

1303  
災害前の人間関係がなくなる

1304  
年寄りが子供に地域外へ引き取られる

1305  
安価な賃貸住宅がなくなる

1306  
首都圏としての新たな「地域スラスト」⇒TX、千葉NT(京成)によって下町がテーマパーク化する

1307  
がれきで江東デルタになる  
中小の運河が埋め立てられてしまう

1308  
4M未満の道路を前提として空間計画論が弱く、下町らしさが消失する

1309  
駅前に高層型復興拠点が出現する。たとえば錦糸町のイメージ

地域→下町

下町暮らしの「本質的」な  
官庁が失われる

暮らししにくくなる

下町の悪さが  
再建される

住みたい人が  
住めなくなる

下町の空間  
ボキャブラリーが失われる

「復興」をあきらめる

計画が  
まとまらない

商店が  
再建しない

地域を離脱  
する人がいる

復旧を  
望む

復興に向けた  
議論・ビジョンが混乱する

地域からの発意  
ができない

お金が  
ない

避難生活

避難所

仮説

権利関係者

地縁  
しがらみ

外からの形式的下町  
イメージが押し付けられる

マスコミの  
ミスリード

支援者の  
思い込み

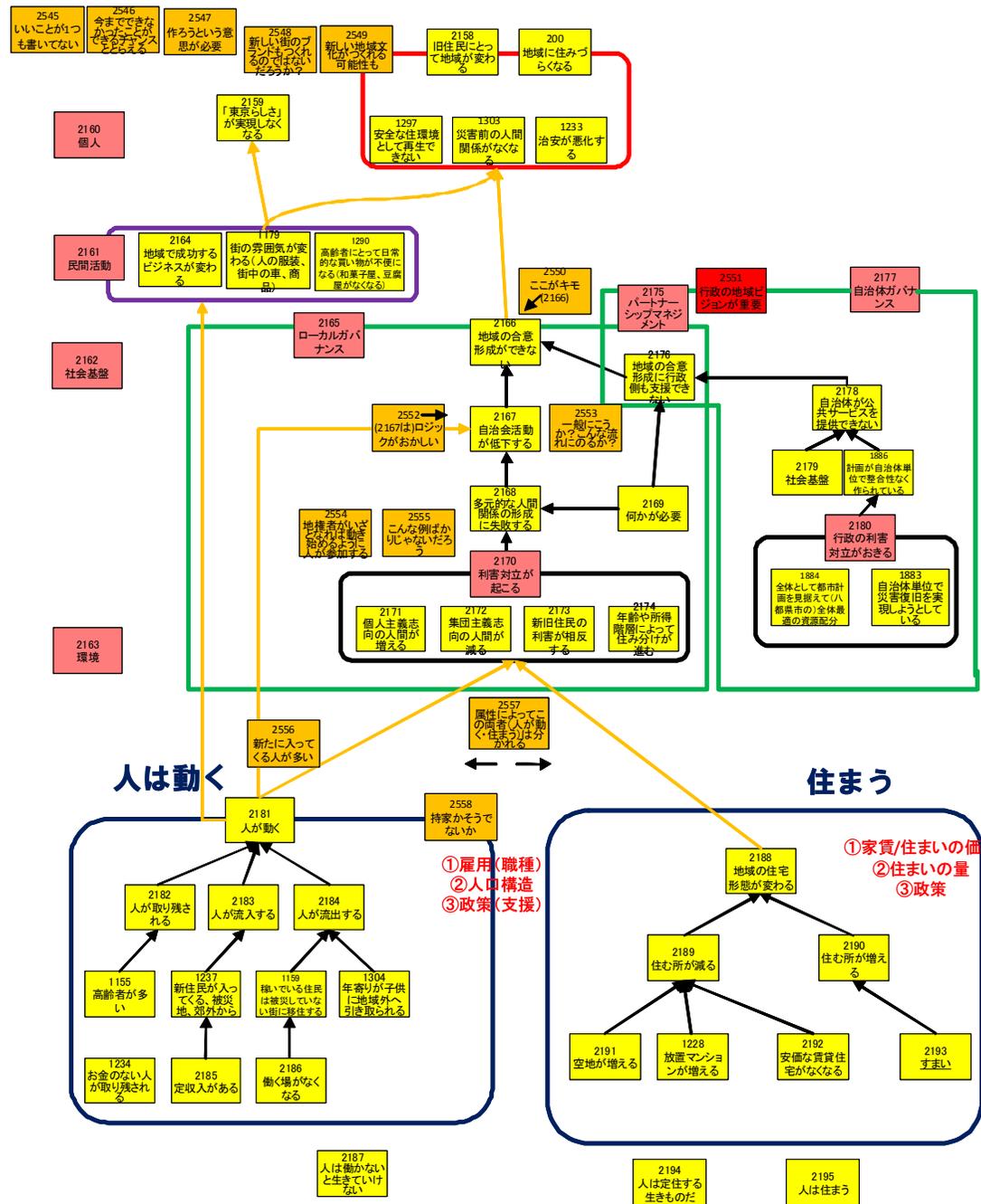
被災者(地域住民)の  
士気が低下する  
がっかりする

火災の延焼を  
食い止められない

ガレキの中から人を  
助け出せない

多くの人が  
亡くなる

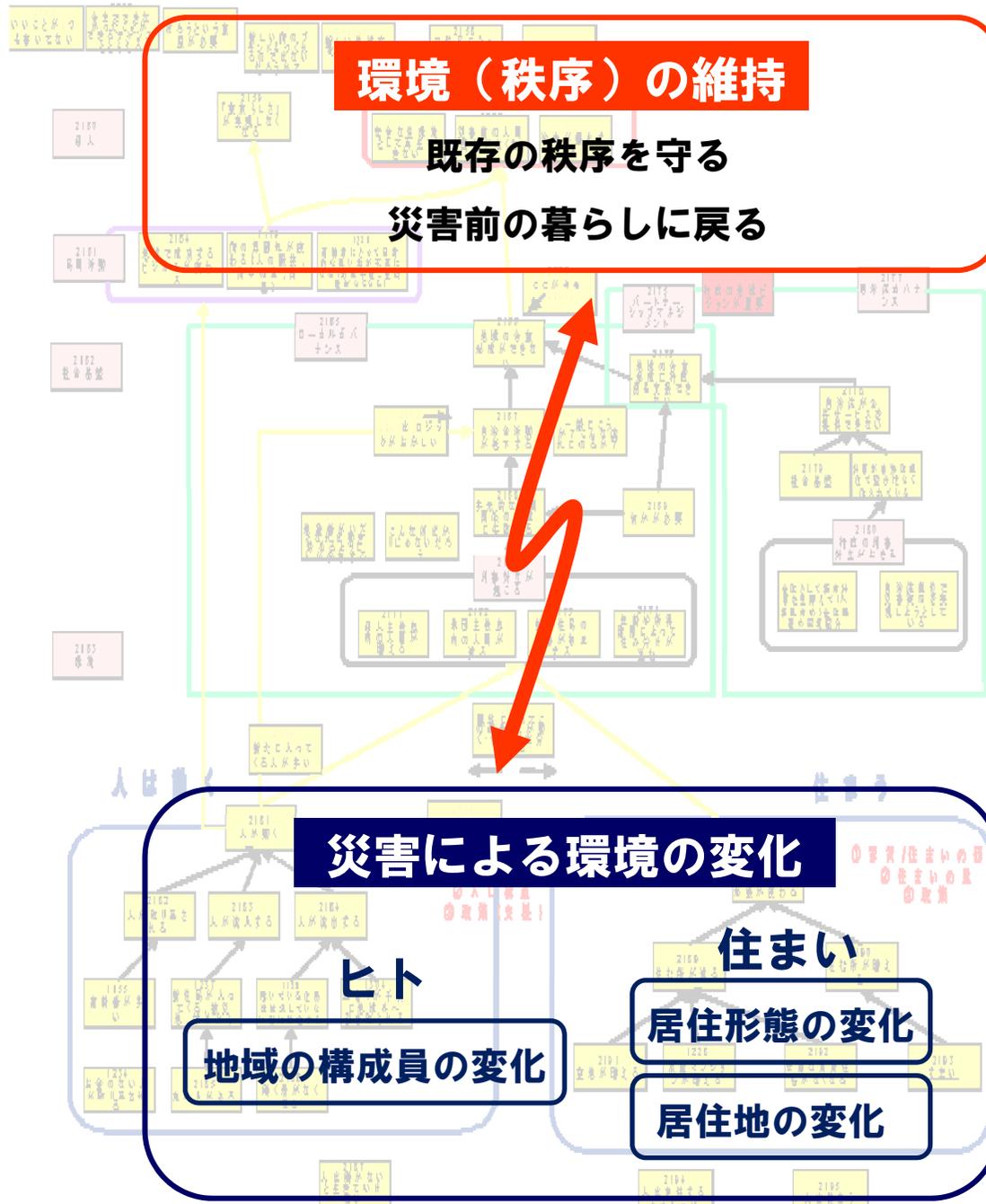
互助で避難生活を  
支えきれない



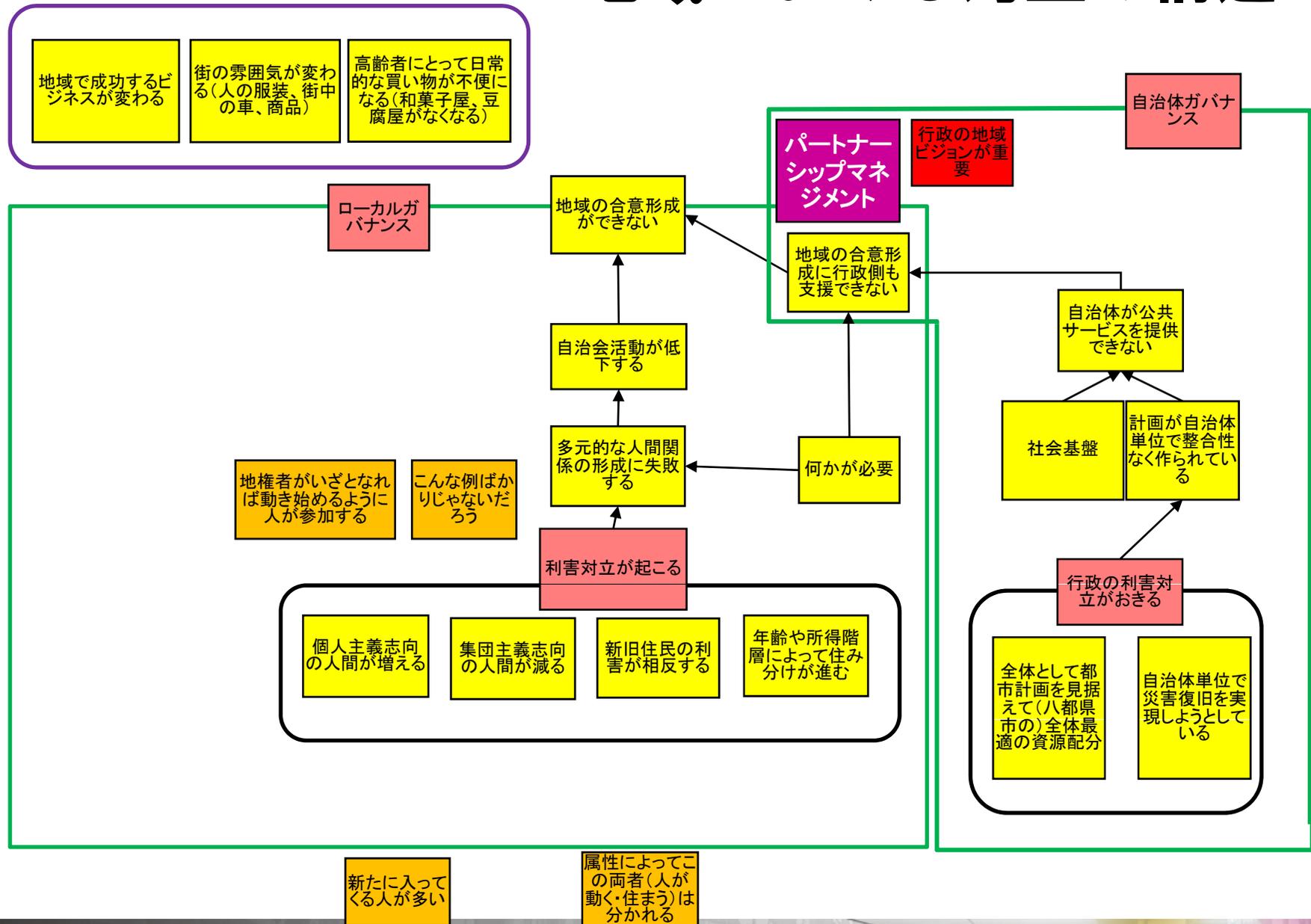
# 地域における対立

個人

民間



# 地域における対立の構造



# 災害による環境の変化

ヒト

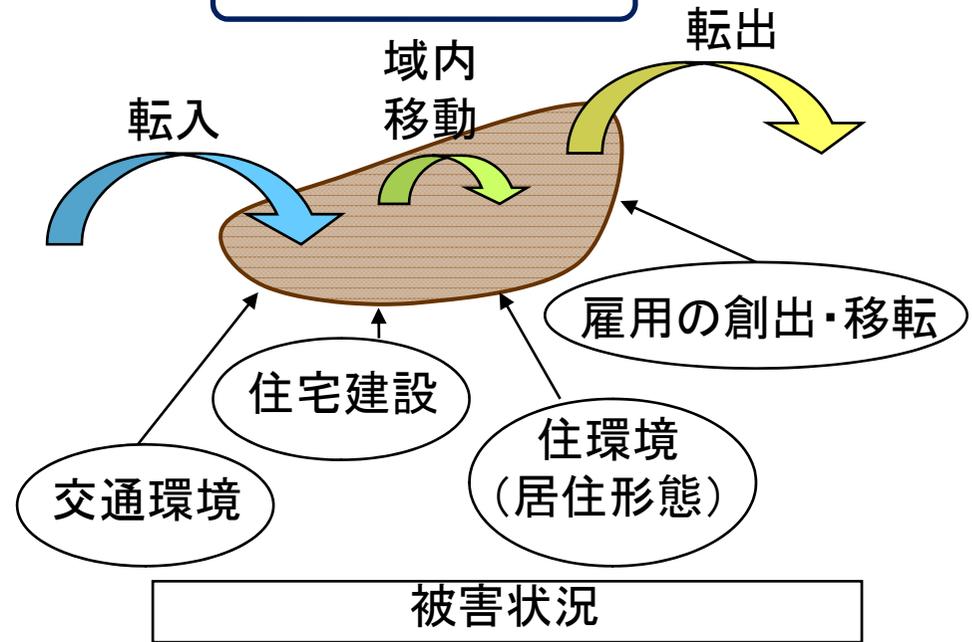
地域の構成員の変化

住まい

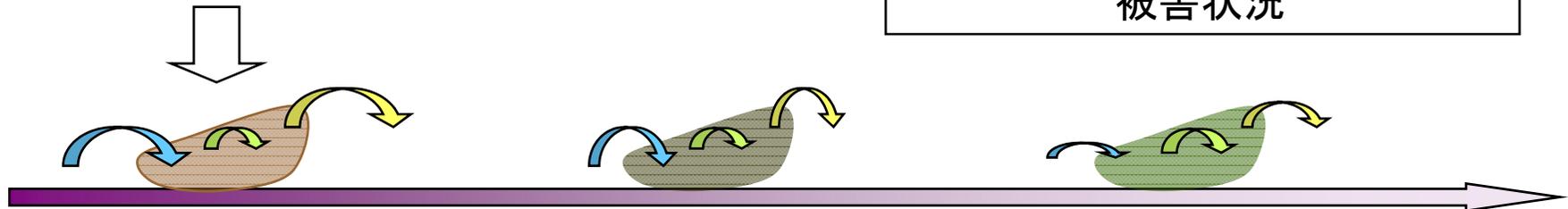
居住形態の変化

居住地の変化

# 地域の構成員の変化



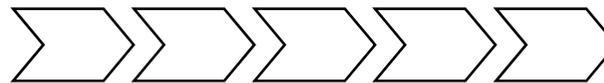
東京都  
全壊85万世帯



環境が安定化するまでの時間変化・必要時間

# 環境（秩序）の維持

既存の秩序を守る  
災害前の暮らしに戻る



新たな秩序  
の構築

# 被災者の居住地の移動 — 阪神・淡路大震災 —

	震災 当時	現在	増減	同住 所(%)	同地域 に移転 (%)	同地域へ移転 する割合(%)
神戸市中央区	33	32	-1	45.5	24.2	44.4
灘区	64	61	-3	67.2	15.6	47.6
東灘区	82	80	-2	68.3	17.1	53.8
兵庫区	47	47	0	78.8	6.4	30.0
長田区	65	64	-1	63.1	18.4	50.0
須磨区	128	122	-6	82.8	6.3	36.4
垂水区	108	113	+5	82.4	10.2	57.9
西区	92	110	+18	85.9	8.7	61.5
北区	121	123	+2	87.6	9.1	73.3
西宮市	184	196	+12	69.0	26.7	86.0
芦屋市	46	46	0	58.7	34.8	84.2
明石市	56	48	-8	71.4	3.6	12.5
宝塚市・川西市	95	96	+1	82.1	12.6	70.6
伊丹市・尼崎市	35	27	-8	57.1	14.3	33.3
猪名川町	10	10	0	100	0	
淡路	30	27	-3	83.3	6.7	40.0
その他・不明	7	1				

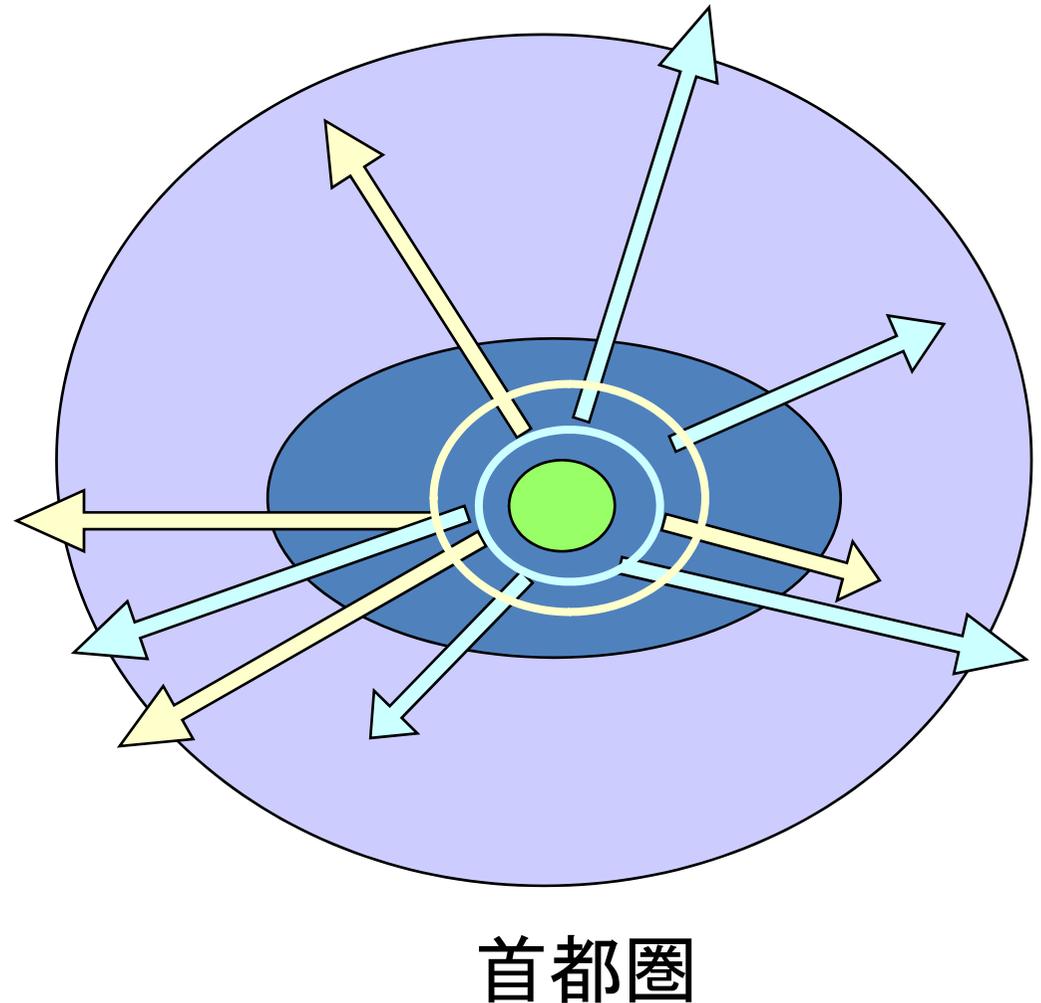
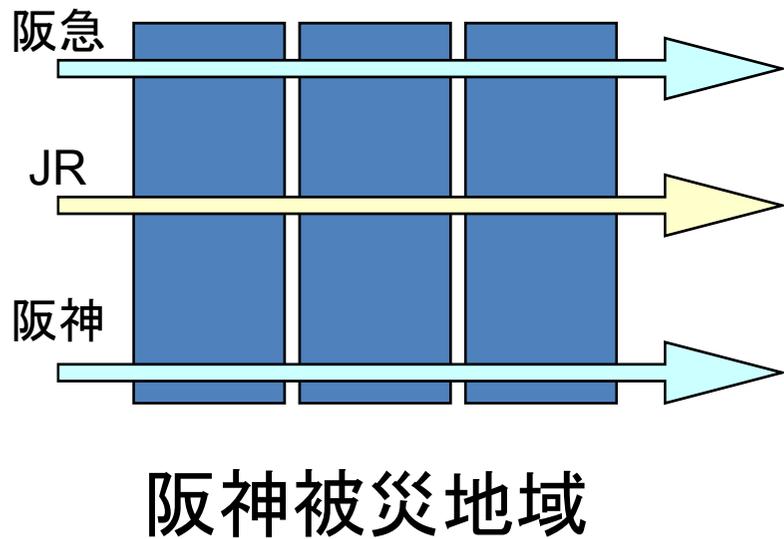
Source:  
兵庫県生活復興調査報告書  
(平成13年度)

# 居住地の移動の詳細 - 阪神・淡路大震災 -

		震災時の居住地域																	合計	
		淡路	明石市	神戸市 北区	西区	垂水区	須磨区	長田区	兵庫区	中央区	灘区	東灘区	芦屋市	西宮市	伊丹市 尼崎市	宝塚市 川西市	猪名川 町	その他 不明		左記以 外の兵 庫県
合計		30 (100)	56 (100)	121 (100)	92 (100)	108 (100)	128 (100)	65 (100)	47 (100)	33 (100)	64 (100)	82 (100)	46 (100)	184 (100)	35 (100)	95 (100)	10 (100)	6 (100)	1 (100)	1203 (100)
現在の 居住 地域	淡路	27 (90.0)					1 (0.8)													27 (2.2)
	明石市		42 (75.0)					3 (4.6)			1 (1.2)							1 (16.7)		48 (4.0)
	神戸市 北区			117 (96.7)	1 (1.1)		2 (1.6)		1 (2.1)		1 (1.6)				1 (2.9)					123 (10.2)
	西区			2 (1.7)	87 (94.6)	1 (0.9)		4 (6.2)			1 (1.6)	1 (1.2)		1 (0.5)						110 (9.1)
	垂水区			1 (0.8)	1 (1.1)	100 (92.6)	4 (3.1)		1 (2.1)	2 (6.1)	2 (3.1)	1 (1.2)						1 (16.7)		113 (9.4)
	須磨区				1 (1.1)	2 (1.9)	114 (89.1)	2 (3.1)		1 (3.0)		1 (1.2)							1 (100)	122 (10.1)
	長田区				1 (1.1)		3 (2.3)	53 (81.5)	2 (4.3)			1 (1.2)				1 (1.1)		1 (16.7)		64 (5.3)
	兵庫区	1 (3.3)			1 (1.1)		1 (0.8)	2 (3.1)	40 (85.1)	1 (3.0)	1 (1.6)				1 (2.9)			1 (16.7)		47 (3.9)
	中央区			1 (0.8)		1 (0.9)	1 (0.8)		2 (4.3)	23 (69.7)		3 (3.7)		1 (0.5)	1 (2.9)			1 (16.7)		32 (2.7)
	灘区					1 (0.9)		1 (1.5)	1 (2.1)	3 (9.1)	53 (82.8)	1 (1.2)			4 (11.4)			1 (16.7)		61 (5.1)
	東灘区									2 (6.1)	1 (1.6)	70 (85.4)	1 (2.2)	2 (1.1)	1 (2.9)	1 (1.1)				80 (6.7)
	芦屋市						2 (1.6)				1 (1.6)		43 (93.5)	1 (0.5)						46 (3.8)
	西宮市	1 (3.3)	1 (1.8)			2 (1.9)				1 (3.0)	4 (6.3)	3 (3.7)	2 (4.3)	176 (95.7)	2 (5.7)	1 (1.1)				196 (16.3)
	伊丹市 尼崎市														25 (71.4)	2 (2.1)				27 (2.2)
	宝塚市 川西市					1 (0.9)								3 (1.6)		90 (94.7)				96 (8.0)
	猪名川 町																10 (100)			10 (0.8)
その他 不明	1 (3.3)																		1 (0.1)	
同住所	25 (83.3)	40 (71.4)	106 (87.6)	79 (85.9)	89 (82.4)	106 (82.8)	41 (63.1)	37 (78.7)	15 (45.5)	43 (67.2)	56 (68.3)	27 (58.7)	127 (69.0)	20 (57.1)	78 (82.1)	10 (100)				
移転した人	5 (16.7)	16 (28.6)	15 (12.4)	13 (14.1)	19 (17.6)	22 (17.2)	24 (36.9)	10 (21.2)	18 (54.5)	21 (32.8)	26 (31.7)	19 (41.3)	57 (31.0)	15 (42.9)	17 (17.9)	0 (0)				
同じ地域に 移転した人	2 (6.7)	2 (3.6)	11 (9.1)	8 (8.7)	11 (10.2)	8 (6.3)	12 (18.4)	3 (6.4)	8 (24.2)	10 (15.6)	14 (17.1)	16 (34.8)	49 (26.7)	5 (14.3)	12 (12.6)	0 (0)				
同じ地域に 移転する割合	(40.0)	(12.5)	(73.3)	(61.5)	(57.9)	(36.4)	(50.0)	(30.0)	(44.4)	(47.6)	(53.8)	(84.2)	(86.0)	(33.3)	(70.6)					

Source: 兵庫県生活復興調査報告書(平成13年度)

# 地域と鉄道の関係：電車の便の違い

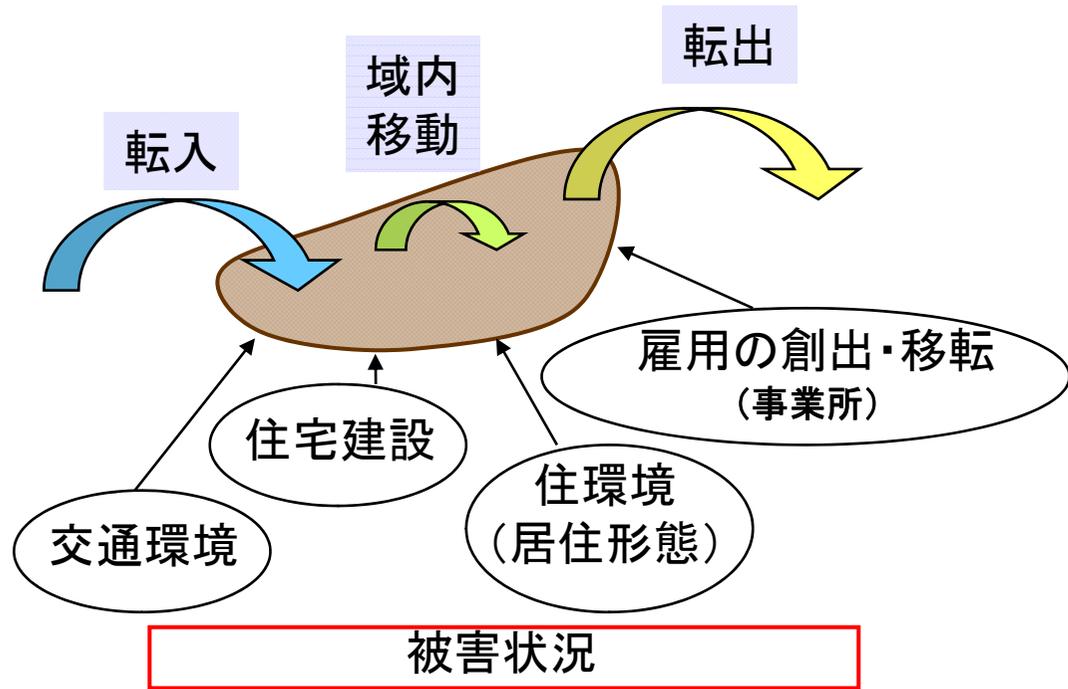


# 地域構造の変化の推計モデル

■ 移動人口(属性)

○ パラメータ

□ 前提条件

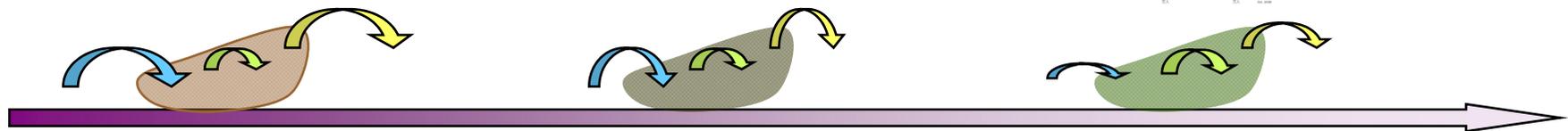
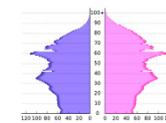
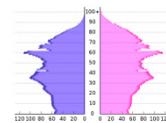


東京都 全壊85万世帯

転入

域内移動

転出



環境が安定化するまでの時間変化・必要時間